

急性前立腺炎で入院された方へ

主治医

主治医以外の担当者

担当看護師

担当薬剤師

担当栄養士

患サポチェック：

患者さん氏名

様

	入院日	2日目	3日目	4日目	5～9日目	退院日	
目標	・発熱、排尿困難の改善 ・日常生活動作が維持できる	・症状の悪化がない ・日常生活動作が維持できる	・症状の悪化がない ・日常生活動作が維持できる	・症状の悪化がない ・日常生活動作が維持できる	・症状が改善し、退院に向けての準備が出来る	退院基準 血液データ、症状が改善する	
治療 処置	・補液と抗生剤の点滴をします 熱を下げ、痛みを軽減する薬を使います				→ ・適宜血液検査をします		
検査	・39℃以上の発熱があれば追加で採血をする場合があります。敗血症では2週間抗生剤の点滴を行うこともあります ・血圧が不安定な場合は心電図モニターをつけます。昇圧剤をつかうことがあります。						
食事	・食事を摂取できるか評価してから食事開始となります。食事の摂取量をみて点滴の量を調整します。						
薬	・持参した薬を薬剤師が確認します	・医師から許可されたお薬のみ内服します ・自己管理が困難な場合は薬剤師と看護師がお薬を管理します			敗血症と診断された場合は2週間の抗生剤治療が必要になります。		
排泄	・トイレ歩行可能、必要時尿の管を入れます						
活動	・歩行可能です						
清潔	・基本的にシャワー浴可能ですが、症状や血圧、熱の状態をみて看護師が体を拭く場合もあります						
説明	・医師より、病状、入院治療計画について説明があります	・適宜、薬剤師による服薬指導があります ・重症の場合、ご家族にも対面かお電話・リモートで説明があります				・退院の時期を医師と相談します ・看護師が退院後の生活の注意事項を説明します	・退院時に渡された抗生剤は飲みきって下さい ・1日1.5リットルを目安に水分摂取して下さい ・38度以上の発熱、腰背部痛がある場合は下記にご連絡下さい 連絡先 03-3625-6381 (代表)
指導	・看護師より入院生活について説明があります 	発熱の程度が強い、水分や食事が十分に摂取できない、血圧が下がる、全身状態が悪いなど重症の場合には、入院のうえ抗生剤の点滴治療を行います。発熱がおさまれば、経口治療に変更可能です。尿路基礎疾患が見つかった場合は、併せてその治療も必要です。					
その他	・必要物品：不明な点をご質問ください 入院時に必要な物品はレンタルのご用意があります						上記、入院中の診療計画について説明を受けました 年 月 日 本人または家族の署名

特別な栄養管理の必要性： 有 無

DPC説明済

※この経過内容は、当院での標準的な診療内容を記載しています。経過には個人差があるため、この経過通りに進まないことがありますが、その都度対応しますのでご安心ください。